



進路だより

令和6年度 第2号
令和6年 6月11日
島根県立大東高等学校
進路部 発行

1年進路講演会を実施しました(6/4(火))

今回の1年進路講演会では、山内太地氏（作家、コンサルタント、教育系 YouTuber）に来校いただき、「将来の進路の考え方」というタイトルで講演をしていただきました。

山内先生ご本人がこれは講演ではなく、演劇だとおっしゃっていましたが、教育系 YouTuber と言われているだけあって、早いテンポで話をされ、10分くらい話したら2分休憩というのを3回繰り返すという形態で説明されました。

「進学の特長（言われたことをやる人から→言われた以上のことをやる人になる、大学の先生は「研究者」新しいことにチャレンジしている）」
「能動的な学習の大切さ（①計画を立てる ②実行する ③結果を出す）」
「社会に必要とされる人間になるためには、与えられたモノだけではダメで、本を読んだり、人々の課題に関心を持ち、自分で調べ、行動し、発表したりすることが大切である」
「大学の学部の内容」
「大学と専門学校の違い」
「専門学校は2種類（「技術」の専門学校と「才能」の専門学校）」
「あなたがなるべき社会人（①言われたことだけやってたらだめ ②チャンスを与えられたら飛びつく ③自分でチャンス（新しい仕事）を作り出す）」
「私の強みって何？」（①個性、能力、実績 ②それが相手に伝わる面接、プレゼンテーション、書類選考、小論文）」
「大学受験の方法」（①一般選抜・共通テスト ②総合型選抜「将来のビジョン」「活動実績・能力」「明確な志望理由」 ③学校推薦型選抜）」
「大学の3ポリ（アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー）を読んで志望理由書を書いてみることの大切さ」（①なぜその大学に入りたいの？ ②そのために高校で何をがんばるの？ ③大学を出たら、どうなりたいの？）
「①ウチの大学（会社）じゃなきゃいけない理由 志望動機、目的 ②（大学にとって）あなたじゃなきゃいけない理由 自己PR、必殺技」
「今すぐできること」（①帰ったらすぐ勉強 ②15分勉強法 ③好きになるよう工夫する）」
「スマホとの戦い」（時間の管理 スマホ時間を削る。睡眠時間は削らない。勉強時間にまわる。）
「目標を書いて、冷蔵庫に貼り、音読する。」
「行ける進路ではなく行きたい進路へ」

など幅広い進路に関する話を聴くことができ、生徒の皆さんにとって進路を考える上で貴重な機会になったと思います。



生徒の皆さんの感想をいくつかご紹介します。

- ・今までにないような講演会でおもしろかったです。言われたことだけやるのではなく、自分で将来設計や具体的にどうしたらいいかなど考えることが大切だとわかりました。
- ・今したことが良いことを簡潔にわかりやすくまとめてくれて、今日からやってみよう！と思えました。自分の将来についてしっかり考えることができた機会になったし、これから私は何がしたいかを見つけられた気がします。新しく学んだことがたくさんあったので、これからの生活にどんどん活かしていきたいと思いました。
- ・その大学に行きたい理由を細かいところまで考えたことがなかったので、良いきっかけになりました。人にはできない、自分にしかできないことを見つけて夢に向かって努力していきたいです。
- ・自分が将来なりたい職業につけるかや、行きたい大学に行けるかなどとても不安ばかりでしたが、ライバルと差をつけるためには、今このときからしっかりと考えをもって準備しておくことが大切だと知りました。
- ・今まで受講した講演会の中で一番わかりやすく、一番楽しかったです。あまり知らない大学について色々として新しく知ったこともあったし、大学に受かるための方法や、やりたいことの見つけ方なども知ることができました。
- ・大学のことでなく、就職や専門学校について幅広い進路を知れて良かった。印象に残ったことは、なりたい進路を見つけるためには、自分が好きなことを職業にするのではなく、なりたくない進路を見つけて消去法にすることがとてもタメになった。
- ・僕は今まで目標を自分の部屋に貼っていて、見ることはなかったから冷蔵庫にはる。
- ・自分が知らなかったことをたくさん教えてもらいました。やらされる勉強ではなくて、自分からする勉強にしないとダメという話が良かったです。
- ・自分はなににもできないなと思っていたけど、この講演会でやってみようと思うことができたので、挑戦していつか少しでも努力できるようにがんばりたいです。
- ・私は目標があるので、1年生の今から行動した方がよいと言われたので、その目標のためにパソコンで調べたりして自分のために行動していきたいです。
- ・自分にはあまり自信がなかったからこの話を聞いたらすこし自信ができました。家に帰ったらちゃんと進路のことを考えたいです。
- ・今までは学力だけが大切だと思っていましたが、能力も大切なのだとわかって良かったです。私が目指しているところは親から否定されたり、へたと言われているのですが、それでも繰り返し繰り返しがんばりたいと思いました。
- ・今日のお話を聞いて、現実的に職業を考え直そうと思ったし、内容すべてが興味深くて今から2年後に向けてできることをしていこうと思いました。私は専門学校への進学を希望していて、言われたことをして、その上で自分で考えて行動することをしっかり覚えておこうと思いました。一番大事と言われた“能動的な学習”を普段のテストに生かして成功体験を糧に勉強をがんばりたいです。

教育実習生から生徒の皆さんへのメッセージ

今年度は4名の卒業生が教育実習に来ています。教育実習生の皆さんに、現役の大東高校生に向けてのメッセージをいただきました。是非参考にしてください。

門脇 ユウジ さん 理科（生物） （島根大学 生物資源科学部）

島根大学から来ました門脇ユウジです。大学生活や受験などを通じて自分が知ることができて良かった事、大学で役に立ったことについて話したいと思います。

一つ目は、「自分で頑張ること」です。高校生の時は周りに先生や友達(時には親)がいるので頼ることができますが、受験や何かを決断する時は「自分一人」です。勉強にしてもそうですが、教えてくれる人・アドバイスをくれる人達はいるかもしれないですが、行動をするのは「自分」です。特に大学などに進学してからは、自分から勉強しないと(頑張らないと)誰も助けてくれません。そのためにも、「自分で頑張ること」は非常に大切になります。頑張ることによって必ず成果が出るとは言い切ってはあげることができませんが、どこかで実感することがあると思います。自分は、大学での英語の授業や英語論文を読むときです。

二つ目は、「今を全力で楽しむ、行動する」です。個人的にはこれが一番大切です。「高校生」を楽しむのは今しかありません。大学生になって自分は、あの頃は大学とは別の楽しさがあったと痛感しました。大学などに入学もしくは就職するために今全力で勉強することも勿論アリです。全力で何かをしたことは、直接的な成果が出なくてもいい思い出になります。

皆さんそれぞれの目標や考えがあると思うので、これらが本当に役に立つかはわかりませんが、目標達成されること期待しています。頑張ってください。

吉木 陸駆 さん 理科（生物） （県立広島大学 生物資源科学部）

県立広島大学生物資源科学部生命環境科学生命科学コース4年の吉木陸駆です。生物の教員になるため教育実習に行かせていただきました。受験と大学生活についてお話をさせていただきます。

まず、受験ですが正直人生で一番勉強することになります。受験期には最低1日10時間以上は勉強します。メンタル的に相当な苦痛があります。そこで大切なのが一人で戦うのではなく誰かに頼ってもいいということです。例えば友達や家族、先生方に悩みを打ち明けることで心は軽くなるし先生方は多くの生徒の受験を見てきているのでアドバイスもしてくれます。受験は最終的には一人で戦はなければなりません。受験勉強は多くの人の協力のもとで成り立っているものです、感謝を忘れずにしんどい時は頼りながら頑張ってください。

そして次に大学生活ですが、大学ではとる授業も行う活動も自分で決めることになります。多くの場合自分の責任で物事が進んでいきます。しかし、悪いことばかりではなくやれることの幅が大きく広がります。今まで気になっていたけどできなかったことに挑戦することもできます。例えば私の場合はお酒が好きで人とかかわる仕事をしてみたかったので場所を借りてBARを経営しています。大学はこのような新しいことに挑戦しやすい場所なので進学する人はぜひいろいろなことに挑戦してみてください。少しでも皆さんの進路の参考になれば幸いです。

女鹿田 朋香 さん 保健体育科 （日本体育大学 体育学部）

皆さんこんにちは。教育実習生としてお世話になりました。

日本体育大学、体育学部、体育学科4年の女鹿田朋香です。今回は進学を考えている皆さんに自分の経験からお話させていただきます。私は看護師になりたいという夢があり、高校入学時は、看護の専門学校に進学したいと考えていました。受験したい志望校も決めており、オープンキャンパスや説明会にも参加していました。その当時は、日本体育大学に進学することは一切考えていませんでした。しかし、日本体育大学ソフトボール部のセレクションには、繋がりがあり、参加させて頂いていました。コロナウィルスの影響で、出場予定であった選抜大会が中止、総体・インターハイの中止も決まり、高校でソフトボールを辞めようと思っていたのですが、やり切ることが出来ず、大学もソフトボールを続けようと思い日本体育大学に進学することを決めました。

看護の道に進むからという理由でセレクションを受けていなかったら、日本体育大学に進学することはできなかったと思うので、1つに絞ってその目標に向かって頑張るのもいいと思いますが、いろんな観点から進路先を選ぶのも悪いことではないと思います。そのためにも、部活動や学業の面で自分の出来る範囲で頑張ってください。

大学に進学すると、沢山の人がいるので、同じ価値観の人がいれば異なる価値観の人にも出会います。大学の友達は今後も深く関わっていくと思うので、繋がりを大切にしてほしいです。自分のやりたいことには積極的に挑戦して下さい、失敗から学ぶことが多いので成長できる大学生活にするには、難しいことにも挑戦してほしいと思います。

受験頑張ってください。応援しています。

北川 実花 さん 国語科 （島根県立大学 人間文化学部）

皆さんこんにちは。教育実習生として大東高校でお世話になります、島根県立大学人間文化学部地域文化学科4年の北川実花です。私は進路選びについてお伝えしたいと思います。

私が高校生の頃は自分のやりたいことが分からず、専門学校に行きたいとか大学に行きたいとか進路希望を度々変えていました。今思うと、やりたいことを見つけるために、早いうちから色々な学校の話の聞いたり調べてみたりしたら良かったなと後悔しています。そうすれば、自分が興味を持つ学校や職種をもとに行きたい学校を早めに見つけることが出来たし、興味があったけれど思っていたのと違うということにも早めに気付くことが出来たと思います。早めに自分の進路の方向性が具体的に決まれば、自分に合った学校や仕事を見つけることが出来るはずです。自分に合う、合わないは自分の成績や受験方法なども含めて考えないといけаниので相談したり、考えたりする時間が沢山ある方が良いでしょう。悩んでいる時は進路の先生や担任の先生に相談すれば、親身になって相談に乗ってくれます。面接や小論文が苦手でも色々な先生が助けてくれるので安心して、進路に向けて頑張ってください。応援しています！